

環境アセスメント学会
2012年度 第11回大会案内

日程： 2012年9月29日（土）・30日（日） 2日間
会場： 福岡大学七隈キャンパス

目 次

大会スケジュール：プログラム概要
研究報告、シンポジウム等プログラム
大会会場のご案内

●大会スケジュール:プログラム概要

大会 1日目 (9月29日, 土曜日)

午前	9:00	大会受付開始		(A棟2階フロアー)	
	9:40	開会式 開会挨拶 柳 憲一郎(環境アセスメント学会会長・明治大学法科大学院教授)		(A棟2階 A201教室)	
	9:45-12:00	企画委員会開催シンポジウム テーマ:「アセス法改正による地方自治体条例の動向」 コーディネーター: 沖山 文敏(学会常務理事・(株)オオバ) 【パネリストによる講演】 上杉 哲郎(環境省環境影響評価課課長) 「法改正に伴う地方自治体条例の改正について(仮題)」 鹿島 茂(中央大学理工学部教授) 「環境影響評価法改正に対する地方自治体の対応に関する分析」 大浜浩志(沖縄県文化環境部環境政策課) 「沖縄県環境影響評価条例の改正について」 井上 武弘(福岡市環境局環境調整課課長) 「福岡市環境影響評価条例の改正について(仮題)」 【パネルディスカッション】 コメンテーター: 田中 充(法政大学社会学部教授) パネリスト: 上杉哲郎, 鹿島茂, 大浜浩志, 井上武弘		(A棟2階 A201教室)	
	12:00-	昼 食			
午後	13:00-14:00	研究報告 セッション1 (A棟6階601教室) 「制度・政策(1)」 (3題)	13:00-14:00 セッション2 (A棟6階603教室) 「自然・生態系(1)」 (3題)	13:00-14:00 セッション3 (A棟6階615教室) 「生活環境」 (3題)	
	午後	14:15-17:00	一般シンポジウム テーマ:「環境アセスメントにおける生物多様性分野の定量評価とミティゲーション・ヒエラルキー」 【開会の挨拶】 小田信治(一般社団法人日本環境アセスメント協会理事 研究部会長) 【趣旨説明】 田中章(東京都市大学環境情報学部教授) 【パネリストからの報告】 コーディネーター: 田中 章 パネリスト: 矢代幸太郎(日本環境アセスメント協会研究部会自然環境影響評価技法研究会) 「計画段階配慮で活用する生物多様性分野の基盤情報整備“BDPマップ”」 つる 詳子(環境カウンセラー) 「撤去の現場からみたダム撤去におけるHEP適用の期待と課題」 伴武彦(株式会社ポリテック・エイディディ主任研究員) 「日本における生物多様性オフセット実証試験の中間報告」 矢原徹一(九州大学大学院理学研究院教授教授) 「九州大学新キャンパス移転と生物多様性保全」 澤田和孝(愛知県環境部自然環境課主査) 「“あいち方式”による生態系ネットワークの形成について」 【パネリスト報告に対するコメント】 上杉哲郎(環境省環境影響評価課課長) 浅野直人(福岡大学法学部教授) 【パネルディスカッション】 コーディネーター: 田中 章 【総括】 コーディネーター 【閉会の挨拶】 浅野直人(大会実行委員長)		(A棟2階 A201教室)
		17:15-19:00	懇親会(4,000円)		

大会 2日目 (9月30日, 日曜日)

午前	8:45	大会受付開始 (A棟6階フロアー)		
	9:10-10:30	研究報告 セッション4 (A棟6階601教室) 「制度・政策(2)」 (4題)	9:10-10:30 セッション5 (A棟6階603教室) 「自然・生態系(2)」 (4題)	9:10-10:30 セッション6 (A棟6階615教室) 「震災・放射能」 (4題)
	(休憩 10分)			
	10:40-12:00	研究報告 セッション7 (A棟6階601教室) 「制度・政策(3)」 (4題)	10:40-12:00 セッション8 (A棟6階603教室) 「自然・生態系(3)」 (4題)	10:40-12:00 セッション9 (A棟6階615教室) 「環境管理」 (4題)
	12:00-	昼 食		
午後	13:00-16:00	ミティゲーション・エクスカーション(九大キャンパス) 集合場所 福岡大学文系センター棟前広場 福岡大学→九州大学 (バス) 九州大学見学 (約1.5時間) 九州大学→福岡空港・JR博多駅 (バス)		

研究報告：プログラム

○ 大会第1日目 9月29日(土) 13:00～14:00

第1会場 A棟6階601教室

セッション1「制度・政策(1)」座長：作本直行

1	13:00～13:20	発展途上国における効果的な戦略的環境アセスメント～ブルンジ共和国港湾セクターマスタープランにおけるSEAを事例として ○林田貴範, 二宮浩輔, 長田千絵美(財団法人国際開発センター)
2	13:20～13:40	JICA環境社会配慮助言委員会の運営による効果に関する考察 ○村山武彦, 河添靖宏, 桜井典子, 升本潔(東京工業大学大学院)
3	13:40～14:00	アセス法政令市制度の現状と今後の課題 ○花岡千草(林野庁), 北川陵太郎, 上田健二(環境省環境影響評価課)

第2会場 A棟6階603教室

セッション2「自然・生態系(1)」座長：石川公俊

1	13:00～13:20	都市河川大和川の水質及び餌料環境とアユの棲息に関する研究 ○浪田真由(大阪市立大学)
2	13:20～13:40	海岸の環境影響に導入すべき諸課題—漂着ゴミ、地形変化 ○清野聡子(九州大学大学院)
3	13:40～14:00	溪流河川における巨石が流れ環境に与える影響の評価 ○米倉瑠里子, 清野 聡子(九州大学大学院)

第3会場 A棟6階615教室

セッション3「生活環境」座長：塩田正純

1	13:00～13:20	抜け道を走行する際の自動車ドライバーのストレス評価 ○浅田拓海, 鹿島茂(中央大学)
2	13:20～13:40	環境アセスメントの効率化に向けた大気常時監視局データの分析 ○池本久利(一般財団法人日本環境衛生センター)
3	13:40～14:00	大気質の簡易予測手法の開発 ○市川陽一, 吉田葵(龍谷大学)

○ 大会第2日目 9月30日(日) 9:10～12:00

第1会場 A棟6階601教室

セッション4「制度・政策(2)」座長：栗本洋二

1	9:10～9:30	風力発電事業に係る最近の状況と環境アセスメント(仮題) ○金子浩明, 上田健二, 田中貌, 北川陵太郎, 上杉哲郎(環境省環境影響評価課)
2	9:30～9:50	火力リブレースに係る環境アセスメントと今後の課題(仮題) ○柏谷和久, 田中貌, 横井三知貴, 田中紀彦, 上杉哲郎(環境省環境影響評価課)
3	9:50～10:10	地熱発電事業における合意形成の現状と課題 ○上地成就, 村山武彦, 錦澤滋雄(東京工業大学)
4	10:10～10:30	小規模土石採取事業における自主簡易アセス手法の開発 ○傘木宏夫(NPO地域づくり工房)

セッション5「制度・政策(3)」座長：本間勝

1	10:40～11:00	米国NEPAにおける簡易アセスメント制度の特徴-エネルギー省を事例として ○岡島 雄, 錦澤滋雄(東京工業大学大学院)
2	11:00～11:20	環境アセスメントにおける電子縦覧のあり方に関する研究 ○石川 文月, 錦澤 滋雄, 村山 武彦(東京工業大学)
3	11:20～11:40	環境影響評価審査会の運営に関する研究 ○柴田裕希, 入江総次郎(滋賀県立大学)
4	11:40～12:00	配慮書手続等に関する技術指針の動向と今後の展望 ○上田健二, 佐藤大樹, 金子浩明, 北川陵太郎, 上杉哲郎(環境省環境影響評価課)

第2会場 A棟6階603教室

セッション6「自然・生態系(2)」座長:宮下一明

1	9:10~9:30	イタチ類の在来種と外来種の糞中DNA分析による識別 ○大井和之((一財)九州環境管理協会)
2	9:30~9:50	加布里湾奥部埋め立てに伴うカブトガニの保全 ○柴田幸次, 高比良光治, 中嶋雅孝((一財)九州環境管理協会)
3	9:50~10:10	環境影響評価で必要とされる生物多様性ポテンシャルマップの実践的調査研究 ○野崎弘道((社)日本環境アセスメント協会), 新井聖司(大日本コンサルタント(株)), 小田信治(清水建設(株)), 千田庸哉((株)建設技術研究所), 西澤正(エヌエス環境(株)), 松岡明彦(エヌエス環境(株)), 堀吉博((株)環境管理センター), 他
4	10:10~10:30	諸外国における生物多様性バンキングの制度比較 ○芦朋也, 田中章(東京都市大学)

セッション7「自然・生態系(3)」座長:梶谷修

1	10:40~11:00	HSI-InVEST:結合モデルによる生物多様性の空間的評価—愛知県を事例として ○ダカール・アンビカ, 大場 真, 林 希一郎(名古屋大学エコトピア科学研究所)
2	11:00~11:20	HSIモデルの精度向上方法と広域マップに求められる精度について ○矢代幸太郎((社)日本環境アセスメント協会), 新井聖司(大日本コンサルタント(株)), 小田信治(清水建設(株)), 千田庸哉((株)建設技術研究所), 西澤正, 松岡明彦(エヌエス環境(株)), 堀吉博((株)環境管理センター), 横田樹広(三洋テクノマリン)
3	11:20~11:40	都市近郊を対象としたカワセミのHSIモデルの構築と適用について ○海老原学, 浦瀬勇真, 新井聖司(大日本コンサルタント(株))
4	11:40~12:00	豪州の生物多様性評価手法(ハビタット・ヘクター)の利点と課題:名古屋大学キャンパス周辺二次林への適用による事例研究 ○長谷川泰洋, 林希一郎(名古屋大学エコトピア科学研究所)

第3会場 A棟6階615教室

セッション8「震災・放射能」座長:市川陽一

1	9:10~9:30	放射性物質汚染に対応した環境影響評価制度の確立に向けて(仮題) ○上迫大介, 佐藤大樹, 上田健二, 上杉哲郎(環境省環境影響評価課)
2	9:30~9:50	原発事故が与える環境アセスメントへの教訓 ○原科幸彦(千葉商科大学)
3	9:50~10:10	震災からの復旧・復興と環境アセスメント(仮題) ○田中獏, 金子浩明, 北川陵太郎, 柏谷和久, 上杉哲郎(環境省環境影響評価課)
4	10:10~10:30	福島県内における放射線リスクの社会影響 ○村山武彦(東京工業大学大学院)

セッション9「環境管理」座長:嶋田啓二

1	10:40~11:00	私立大学の環境報告書の発行状況に関する分析 ○坂本将吾, 鹿島茂(中央大学)
2	11:00~11:20	大学の環境報告書の発行が教職員・学生に与える影響の分析—中央大学を例に— ○森遼太郎, 坂本将吾, 鹿島茂(中央大学)
3	11:20~11:40	環境監理による環境保全対策の適応的管理(沖縄科学技術大学院大学建設事業を例として) ○城野裕介, 甲斐敦夫, 富坂峰人, 木村英彰, 東誠一郎(日本工営(株))
4	11:40~12:00	家庭における消費エネルギー構成による環境的側面別の影響に関する考察 ○伊藤勝, 葉山海太(江戸川大学)

シンポジウム： プログラム

2012 年度環境アセスメント学会 企画委員会主催シンポジウム 「アセス法改正による地方自治体条例の動向」

- 日時： 大会 1 日目 9 月 29 日（土） 9:45～12:00
場所： 福岡大学七隈キャンパス A棟 2階 A201 教室
コーディネーター： 沖山 文敏（本学会常務理事，（株）オオバ）

○開催の趣旨

2011 年 4 月に環境影響評価法の改正法案が成立し、本年 4 月より順次施行されつつあります。この法改正によって追加変更となった事項に対応するため、各地方自治体においては、条例改正をはじめとする取り組みを開始していますが、その対応方針は自治体により、やや異なっているのが実態です。本シンポジウムでは、これらの自治体の対応の現状を把握するとともに、今後の動向についての情報交換・意見交換を行うことを目的とします。

○プログラム

・講演

- 1) 「法改正に伴う地方自治体条例の改正について（仮題）」
上杉哲郎（環境省環境影響評価課）
- 2) 「環境影響評価法改正に対する地方自治体の対応に関する分析」
鹿島茂（中央大学理工学部）
- 3) 「沖縄県における環境影響評価条例改正の取り組み状況（仮題）」
大浜浩志（沖縄県文化環境部環境政策課）（折衝中）
- 4) 「福岡市における環境影響評価条例改正の取り組み状況（仮題）」
井上武弘（福岡市環境調整課）

・パネルディスカッション

パネリスト（コメンテーター） 田中充（法政大学）
各講演者もパネリストとして参加していただきます。

2012 年度環境アセスメント学会一般シンポジウム
「環境アセスメントにおける生物多様性分野の定量評価とミティゲーション・ヒエラルキー」

生態系研究部会長 田中 章（東京都市大学）

○趣旨

平成 23 年 4 月の環境影響評価法改正により、配慮書手続きと環境保全措置等の結果報告が新たに加わりました。これにより生態系に対してもより早期の対策と各種ミティゲーション効果の事後報告が重要になってきました。一方海外では“回避→低減（最小化）→代償”という明確なミティゲーション・ヒエラルキー（優先順序）とともに、複数案評価や定量評価が義務化されている国が少なくありません。

このような環境アセスメントに関するわが国の制度の変化や国際社会の動向を踏まえ、本シンポジウムでは、戦略的環境アセスメントのための広域情報整備、ダム撤去に伴う複数案定量評価、各種ミティゲーション及びその定量評価などの先進的取り組みを行っているパネリストから最新の情報提供をいただき、生物多様性分野の環境アセスメントにおける課題や今後の展望についてご議論いただきます。

日時：大会 1 日目 9 月 29 日（土） 14:15-17:00

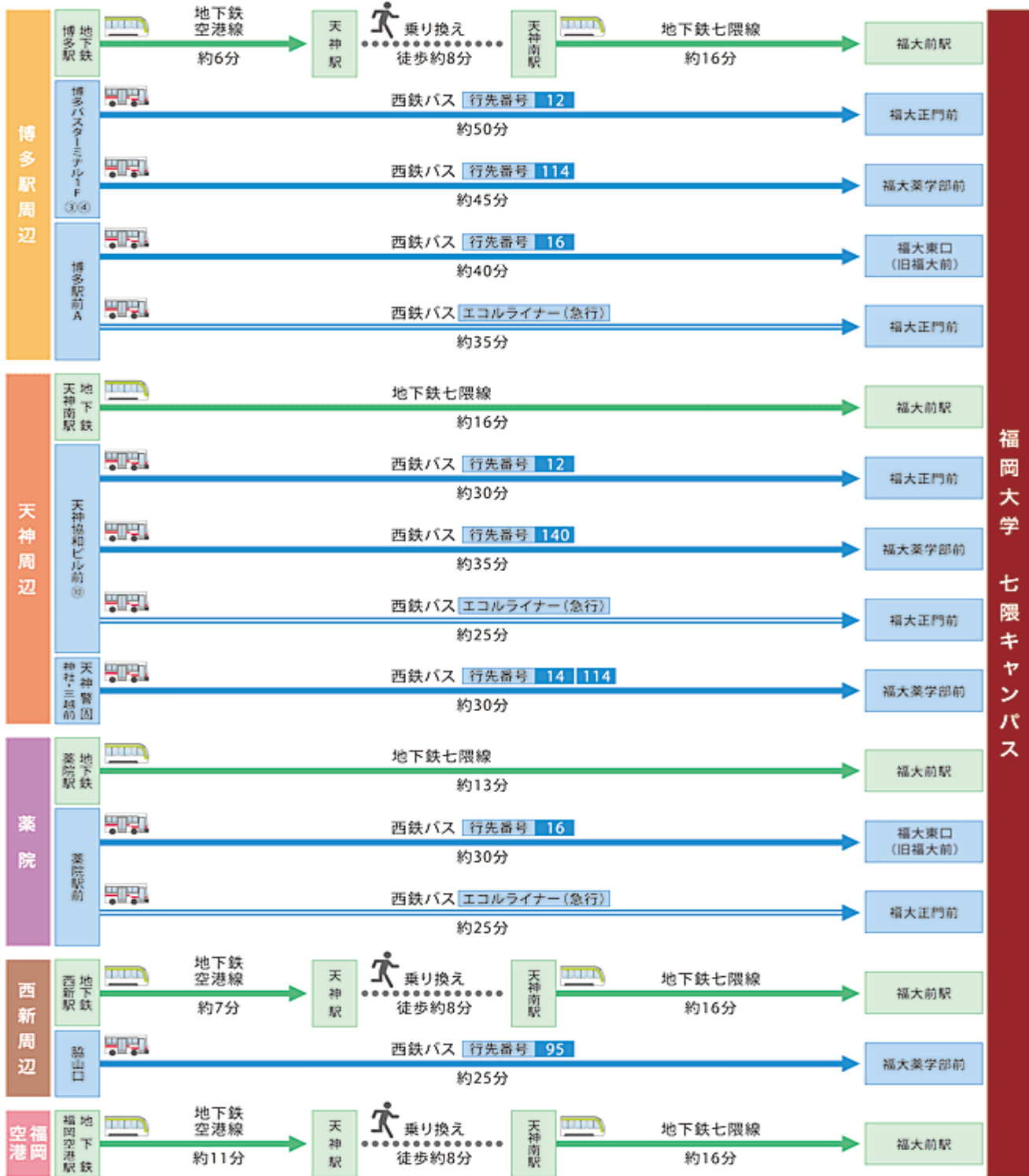
会場：福岡大学七隈キャンパス A 棟 201 教室

○プログラム

総合司会 小田信治（一般社団法人日本環境アセスメント協会理事 研究部会長）

- | | |
|-------------|---|
| 14:15 | 開会の挨拶 総合司会者 |
| 14:16 | 趣旨説明 コーディネーター：田中章（東京都市大学環境情報学部教授） |
| 14:25 | パネリストからの報告（各報告 15 分、司会：コーディネーター） |
| 14:25 | 矢代幸太郎（日本環境アセスメント協会研究部会自然環境影響評価技法研究会サブリーダー、株式会社東京久栄主任研究員）「計画段階配慮で活用する生物多様性分野の基盤情報整備 “BDP マップ”」 |
| 14:40 | つる詳子（環境カウンセラー）「撤去の現場からみたダム撤去における HEP 適用の期待と課題」 |
| 14:55 | 伴武彦（株式会社ポリテック・エイディディ主任研究員）「日本における生物多様性オフセット実証試験の中間報告」 |
| 15:10 | 矢原徹一（九州大学大学院理学研究院教授）「九州大学新キャンパス移転と生物多様性保全」 |
| 15:25 | 澤田和孝（愛知県環境部自然環境課主査）「“あいち方式”による生態系ネットワークの形成について」 |
| 15:40 | 質疑応答 |
| 15:50-16:05 | 休憩（15 分） |
| 16:05 | パネリスト報告に対するコメント |
| 16:05 | 上杉哲郎（環境省環境影響評価課長） |
| 16:10 | 浅野直人（福岡大学法学部教授） |
| 16:15-16:55 | パネルディスカッション |
| 16:55 | 総括 コーディネーター |
| 16:59 | 閉会の挨拶 浅野直人（大会実行委員長） |

アクセス方法



※時間帯によって交通混雑が予想されますので、所要時間は目安としてください。
 ※バスの行先番号が同じでも行先が異なることがありますので、バス正面の行先(経由地)をご確認ください。